2009年（平成21年）1／1

広報 まちだ

2008年 市制50周年
あなどれません。町田

第1565号 新年号
発行日　毎月３回１の日
（１日、11日、21日）

発行・町田市　編集・政策経営部広報広聴課広報係
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
町田市コールセンター042・724・5656
ホームページ　http://www.city.machida.tokyo.jp
携帯版　http://www.city.machida.tokyo.jp/mobile/
携帯電話用ＱＲコード

人口と世帯

人口	４１９，７９３人
男	２０７，３８６人
女	２１２，４０７人
	（前月より５２人増）
世帯	１７９，１３３世帯
	（前月より９４世帯増）
	（２００８年１２月１日現在）

今号の紙面から

２面
施設案内予約システムが新しくなります

５面
花のまちシンポジウムinまちだ

７面
年始の救急診療

○今号から日時＝日などの凡例を使って表記しています

写真の子牛は相原町の中島牧場で、昨年12月２日に生まれた女の子です。
町田市内には、６軒の酪農家があり、中島牧場もそのうちの１軒です。
市内の酪農家で搾られた牛乳は、東京みるく工房ピュア（相原町）で飲むことができるほか、町田あいす工房ラッテ（相原町）でアイスクリームとして味わうことができます。

新年を迎えて

町田市長　石阪丈一

明けましておめでとうございます。

昨年は、市制50周年の記念すべき年でした。これを記念して市内各地で、市民、大学、企業の皆様と協働して様々なイベントが行われ、多くの市民の皆様にご参加いただきました。これらのイベントで培った市民との協働の精神は、今後の町田市にとって大いに役立つことと信じております。

さて、今年は２００７年11月に公表した５ヵ年計画の「中期経営計画」も折り返しの年になります。「市民すべてが希望の持てるまち」の実現に向けて４つの都市像を市民の方々に実感していただける年にしたいと考えております。

「市民協働のまちの創造」では、市役所新庁舎の建設工事や鶴川駅前公共施設の設計に着手し、市民との協働による拠点整備を進めます。

「環境先進都市の創造」では、景観法に基づく町田市独自の取り組み事項を盛り込んだ（仮）町田市景観条例を策定し、市民主体によるすぐれた景観のまちをつくる取り組みを展開します。また、一般廃棄物処理計画を策定し、さらなるゴミの資源化に向けた検討を進めてまいります。

「子育て・保健福祉のまちの創造」では、待機児童の解消に向けて、保育園や認証保育所の整備を進めます。小山ヶ丘地区においては、不足している小中学校の整備を進めてまいります。また、高齢者福祉施設の入所待機者を減らすために、特別養護老人ホームの整備を支援します。

「商業・文化芸術都市の創造」では、４月に町田市観光コンベンション協会を設立し、積極的に地域ブランドの創出と発信を進めていきます。また、産業振興基本条例を基本に、地域の連携による産業振興を図り、地域の魅力と活力のあるまちづくりを進めてまいります。

一方、スポーツの分野においては、２０１３年の東京国体を開催するために市内のスポーツ施設の改修に着手してまいります。

そのほか、駅前連絡所の開所時間・開所日の拡大や、コンビニエンスストアでの納付税目拡大などにより市民サービスの向上を図ってまいります。

また、昨年やむなく中止した市民病院の小児二次救急医療をなるべく早い時期に再開し、地域医療の中核を担うべく努力してまいります。

２００６年に市長に就任してから約３年が経過いたしますが、経営品質の改善、市民サービスの向上、市民病院の健全な運営などまだやらなければならない仕事が山積しています。「市民すべてが希望の持てるまち」の実現を目指し、職員とともに全力を尽くして取り組んでまいります。新しい年が市民の皆様にとってすばらしい年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。